



Kumamoto University  
大学院社会文化科学研究科  
教授システム学専攻

はじめまして！  
朝が苦手な鈴木です……



熊本大学大学院  
社会文化科学研究科  
教授システム学専攻  
鈴木 克明



<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/>

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

1

## 「教材設計マニュアル」(2002) ——言いたいことを全部書いた本



Kumamoto University  
大学院社会文化科学研究科  
教授システム学専攻



- ・ 教職課程「教育方法」のテキストとして執筆した。
- ・ **講義で話すことがなくなった。**
- ・ 講義時間は、確認テスト&相互チェック作業&相談の時間になった。
  - 寝ている人はいなくなった。
- ・ **言いたいことを書くだけでなく、ID的工夫を盛り込んだ。**
  - 学習目標・キーワード・背景・練習・フィードバック・見取図・課題・カリキュラム案・(テスト)

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

2

熊本大学大学院社会文化科学研究科  
教授システム学専攻  
完全オンラインの大学院



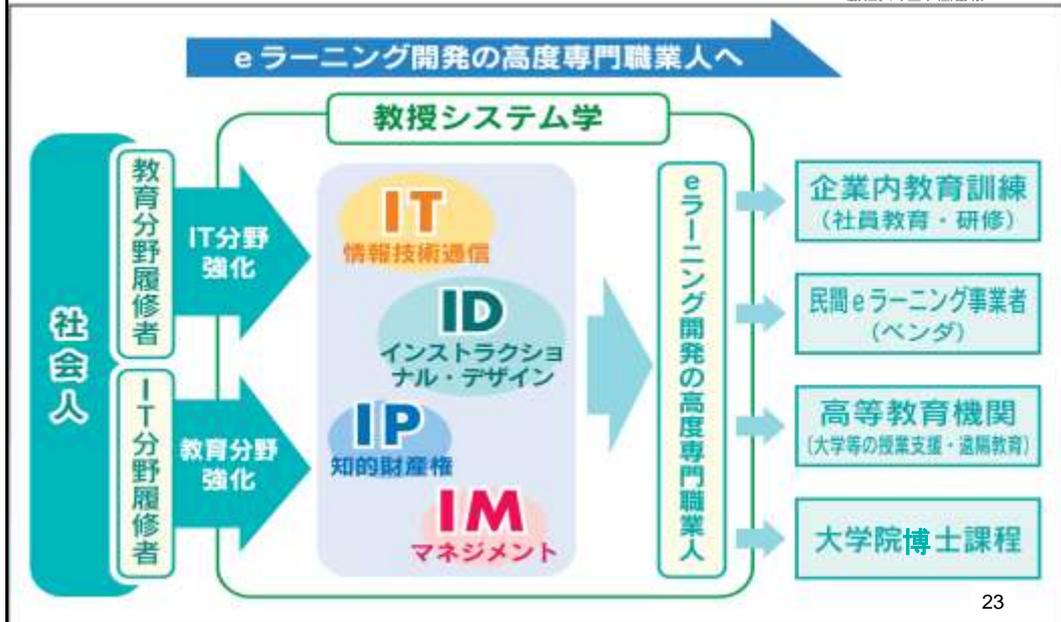
日本初！ 4つのI(ID+IT+IM+IP)で学ぶ  
eラーニングによるeラーニング専門家養成大学院

- ・ 平成18年4月開設(博士課程平成20年4月から)
- ・ 学位:修士(教授システム学)+博士(学術)
- ・ 入学定員:修士10名→15名+博士3名
- ・ 科目等履修生・研究生も募集しています！
- ・ 在学生60名+科目等履修生36名(平成22年4月現在)

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

3

『4つのI』によって  
eラーニング・プロフェSSIONALを養成



23



**e Learning Consortium**

## 産学連携による 人材需要への適合性確保



**Kumamoto University**  
大学院社会文化科学研究科  
教授システム学専攻

「eラーニングプロフェッショナル(eLP)資格認定制度」



熊本大学大学院で  
学ぶことでeLP資格  
が取れる



専門職育成に貢献

策定作業に本専攻  
として協力

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

## 『4つのI』の科目体系



**Kumamoto University**  
大学院社会文化科学研究科  
教授システム学専攻

- ・インストラクショナル・デザイン I
- ・インストラクショナル・デザイン II
- ・eラーニング概論
- ・eラーニング実践演習 I
- ・eラーニング実践演習 II
- ・特別研究 I
- ・特別研究 II
- ・基盤的教育論
- ・教育心理学
- ・情報技術教育方法論



**IT**  
情報通信技術

- ・学習支援情報通信システム論
- ・基盤的情報処理論
- ・高度情報通信技術の教育利用
- ・ネットワークプログラミング論
- ・ネットワークセキュリティ論
- ・コンテンツ標準化論

- ・ネットワーク上の知的財産権及び私権



**ID**  
インストラクショナル・デザイン

- ・外国語教育におけるeラーニング
- ・情報リテラシー教育におけるeラーニング
- ・職業人教育訓練におけるeラーニング
- ・高等教育におけるeラーニング

**IP**  
知的財産権



**IM**  
マネジメント

- ・教育ビジネス経営論
- ・遠隔教育実践論
- ・eラーニング政策論
- ・eラーニングコンサルティング論
- ・情報ビジネス経営論
- ・ナレッジ・マネジメント
- ・経営学特論

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

## オンライン授業例 本専攻のeラーニングコンテンツ



eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

7

## 研修事例をみる6つの視点



What?	何を（誰に）教えているか
Why?	それは何故か：本当に必要なのか？ 研修以外の方法で解決できないのか？
How?	どうやって（いつどこで）教えているか
Why so?	それは何故か：裏づけはあるか？ もっと良いやり方はないのか？
Good?	ダメ・良いと思う理由は何か
Why so?	その証拠は何か：反応・学習・行動・成果 効果的・効率的・魅力的か？

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

8

## 学習会の事例 グループ討議の結果発表メモ



- ・ 専門看護師が、学習会を企画、キャリアラダーを決めていく？
- ・ 問題: 目的なく受けている→情報を現場で生かしていない
- ・ 目的はある→どう活用していいかわからない
- ・ 教える方法が分からない
- ・ フィードバック: 褒めるのが下手
- ・ 分からないと言える、間違っていない雰囲気づくり
- ・ 解決策: 自分たちで見出した問題を扱う

解決策: 専門家をeラーニングで養成! 熊本大学大学院 教授システム学専攻

9

## 中堅看護師の意欲問題 グループ討議の結果発表メモ



- ・ これで満足だ: 自己学習の意欲につながらない
  - 認められない、ラダー的にも「ここでよい」
  - 給与に反映? それでも「やりたくない」場合は?
- ・ 目標を立ててみる: 見える化する
  - 誰に認められたいのか? 先輩? 管理者?
  - 個別の道を見出す手助け: 院内教育

eラーニング専門家をeラーニングで養成! 熊本大学大学院 教授システム学専攻

10

What ?	学習会では何を勉強しているか？ 必要性？ キャリアラダー直結？現場のニーズ直結？ テーマは誰が決める？ 公募？ 担当者？
Why	看護ケアの質維持への危惧<>ニーズ？ 病院側が学習会を推奨しない！
How	効果・効率・魅力が高い方法か？ 参加しやすいか？ 成果の共有・蓄積？
Why so?	多忙・シフト
Good?	参加者アンケートの結果は？ 評判は？ 学習会が職務能力向上に役立ったか？
Why so?	頻度？ 参加者数減少？ 評判が悪い？

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻 11

## フィジカルアセスメント事例

### ARCSを参考に分析したグループ



Kumamoto University  
大学院社会文化科学研究科  
教授システム学専攻

---

- A-1タイトルを変える:これであなともエキスパート
- C-1最低限必要:分かりにくい、異常正常に気づく、バイタルの基礎？
- 学習者の事前準備を入れる
- C-1具体的なゴールを設定する、次につながる何か
- 体験学習の内容がテーマとずれている？現場からの抽出内容にはあっているが目標に書いてない？
  - どうしてもやってくれと現場から言われて無理やり取り上げた内容

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻 12

## フィジカル(続き)



- ・フォローアップは現場を巻き込む。病棟ごとに対応差が出やすい
  - プリセプターに必ずやらせている。
- ・新卒の目標としては高すぎる、詰め込みすぎ、リアリティショックに陥りやすい時期だから
- ・正常はできる、異常は気づくに限定しては？
- ・最低限必要を明確にすべき。現場から何が求められているのか不明確
- ・自分たちの気づきを促す方が定着する？
- ・1年生にやる内容を先輩・指導者にもやると効果的

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

13

What ?	2つのアウトカムが明確<>「必要最低限」 4月からのメニュー項目・配列はOKか要確認
Why	事前調査で理解者(味方)を増やし、研修を職務行動に直結させている(御用聞き) 現場の期待が過大→どう2つに整理したか？
How	GW;事前配布資料の答え合わせと質問が中心 講義40分の内訳は？ ビデオ3分、ペアで10分
Why so?	手技中心で効率的な研修。練習時間は十分か
Good?	学習:全員がマスターして終了しているか？ 応用:現場での職務で確認するシステムがある 定着度:フォローアップ研修なし?(多忙・離職)
Why so?	毎月の研修(6月以降)に組み込めないか？ 現場から抽出した問題が解決したか再聴取

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

14

## この並び・時期で良いのか？ 研修内容の構造化・系列化の視点



- ・ 技術指導3日
- ・ 安全管理(社会見学)
- ・ フィジカルアセスメント・感染・・・
- ・ 心電図基礎
- ・ 不整脈
- ・ 心筋梗塞
- ・ 弁疾患
- ・ 心不全
- ・ ディバイス

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

15

## 質問



- ・ 聴講生の態度が悪い: 敬語が使えないとか
- ・ 研修の効果: 参加者全員がゴール達成するためには事前課題だが、それが負担になり出しにくい
- ・ アンドラゴジーとペダゴジー、相手の成長をはかる尺度
- ・ 現場から抽出された問題が学習者から出ていない。学習者のニーズは聞かないでいいのか？
- ・ 学会の司会でテーマが同じなのに統合しにくい

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

16

熊本大学大学院 社会文化科学研究科 教授システム学専攻  
Graduate school of instructional systems

ホーム English  
サイトマップ お問い合わせ

お知らせ ご挨拶 コンセプト 教員 科目 入試 教員・学生の声 FAQ

# Graduate School of Instructional Systems

## 教授システム学専攻

熊本大学大学院 社会文化科学研究科

◆ 大学院教育改革支援プログラムに採択されました

IDを中心とした  
「4つのI」

修了で身につく  
「コンピテンシー」

取得可能な  
「eLP資格」

全国から受講可能な  
「インターネット大学院」

### News & Topics

- 2010.09.08 本専攻教員、大森不二雄教授の記事が、産経新聞の2010年9月6日(月)朝刊(Web版2010.9.5 19:40)に掲載されました。記事はこちらです。
- 2010.06.15 2010年7月12日(月)に熊本大学eラーニング連続セミナー「eラーニングと勤続つげ: ARCSモデルからのアプローチ(仮題)」(講師:ジョン・M・ケラー博士)を開催いたします。詳細はこちらをご覧ください。

詳細は・・・  
<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/>

キャンパスライフ

公開科目

IDポータル

研究活動

熊本大学GPII時代の教育イノベーター育成プログラム  
成果報告会

大学院教育改革

## 教授システム学専攻のコンセプト



IDを中心とした『4つのI』で  
教授システム学(Instructional Systems)を学ぶ大学院

企業・大学等の広範な教育分野に  
多様な人材を送り出す大学院

全国どこからでも授業を受けられる  
インターネット型大学院(スクーリングなし)

eラーニング専門家をeラーニングで養成! 熊本大学大学院 教授システム学専攻